

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公表番号】特表2004-538447(P2004-538447A)

【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2002-589514(P2002-589514)

【国際特許分類第7版】

G 01 N 33/53

C 07 K 14/76

G 01 N 33/531

【F I】

G 01 N 33/53 J

G 01 N 33/53 A

C 07 K 14/76

G 01 N 33/531 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年1月14日(2004.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

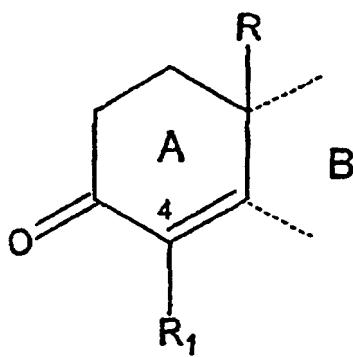
【請求項1】

迅速アッセイで使用する、一般式X-W-Y-Zを有するハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

(式中、

Xは、式IのA環構造を有する多環の融合環ステロイドハプテンであり、

【化1】



式I

式中、RはH、CH₃およびCH₂OHを含む群から選択され、破線は隣接するB環構造の環員を示し、R₁は、リンカーYまたはWが存在する場合、その付着点であり、

Wは、任意選択でチオエーテルまたはエーテル基であり、

Yは、10個以上の原子長のリンカーであり、

Zは、Yが存在しない場合にXのリガンドへの結合に対して立体障害を与えるのに十分

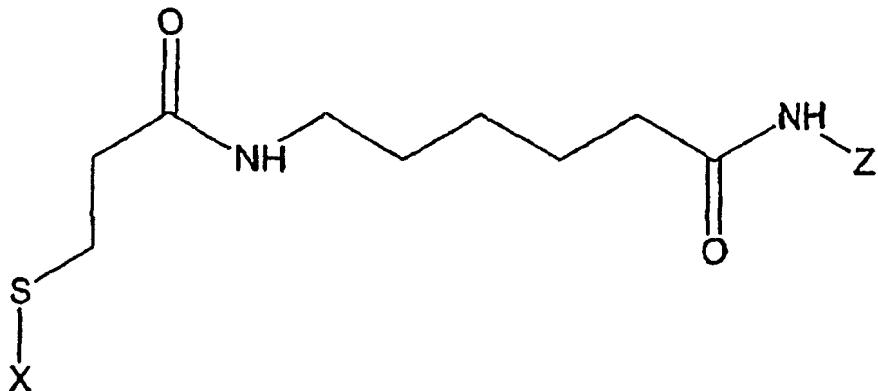
なサイズの大型グループである)

【請求項 2】

Yが10個以上50個以下の原子長である、請求項1に記載のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

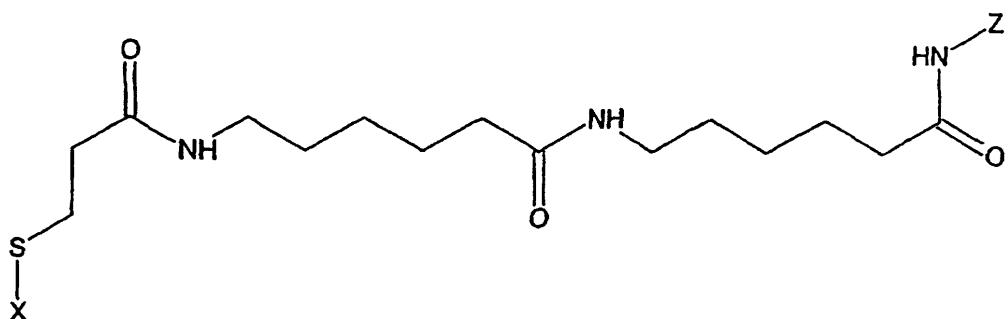
【請求項 3】

【化2】



または

【化3】



(式中、XおよびZは請求項1で定義した通りである)

である請求項1または請求項2に記載のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

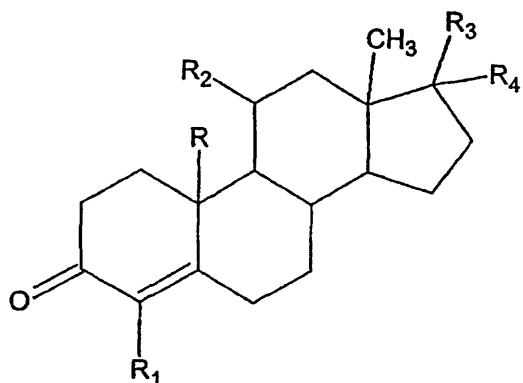
【請求項 4】

Zがタンパク質またはポリペプチドである、前記請求項のいずれか一項に記載のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

【請求項 5】

Xが式IIのハプテンである、前記請求項のいずれか一項に記載のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

【化 4】



式 II

(式中、

R は、H、CH₃およびCH₂OHを含む群から選択され、

R₁は、リンカ- Yの付着点であり、

R_2 は、H または OH であり、

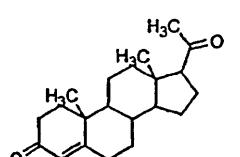
R_3 は、オキシ、 $C_1 \sim C_2$ アルキルまたはメチルカルボニルが任意選択でヒドロキシによって置換されている、オキシ、 $C_1 \sim C_2$ アルキル、ヒドロキシ、およびメチルカルボニルを含む群から選択され、

R₄ は、水素またはヒドロキシである)

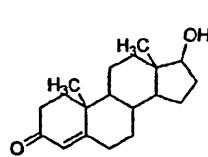
【請求項 6】

X が以下を含む群から選択される、前記請求項のいずれか一項に記載のハプテン・リンカ - 大型グループのコンジュゲート。

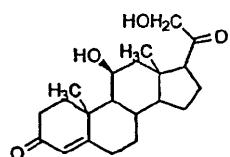
【化 5 】



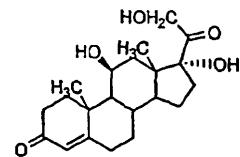
プロゲステロン



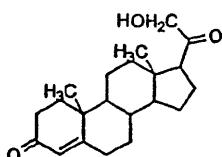
テストステロン



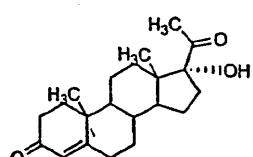
ヨルチヨステロン



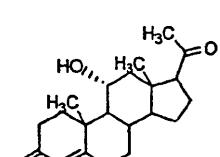
ヒドロコルチゾン



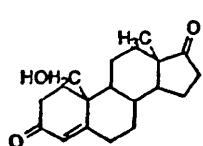
21-ヒドロキシプロゲステロン



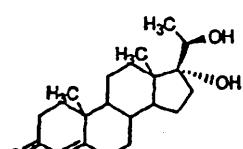
67. *U. S. Geol. Surv. Prof. Paper*, 1903, 12, 13, 14.



11 α -ヒドロキシプロゲステロン



19-ヒドロキシ4-アンドロステロン-3,17-ジオン

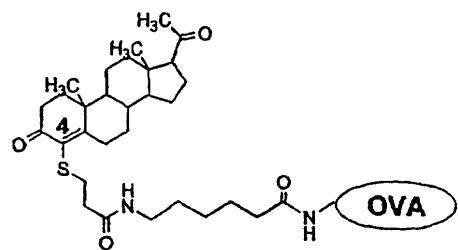


17~208 ミヒドロキシ-4-ヨウダクシ-3-オ

七

【請求項7】

【化6】

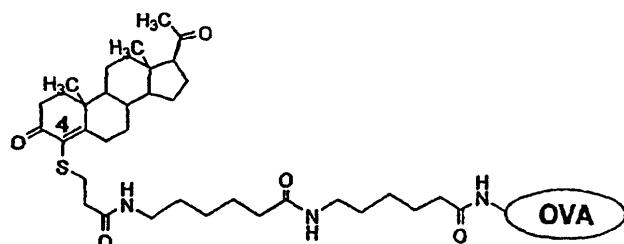


(式中、OVAは卵白アルブミンである)

である、請求項1から6のいずれか一項に記載のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

【請求項8】

【化7】



(式中、OVAは卵白アルブミンである)

である、請求項1から6のいずれか一項に記載のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

【請求項9】

リガンドが抗体または抗体断片である、請求項8に記載のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲート。

【請求項10】

- a) ハプテンを結合する能力があるリガンドを試験試料と接触させるステップと、
- b) ステップa)のリガンドを請求項1から9のいずれかに定義したハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲートとさらに接触させるステップと、
- c) 反応が実質的に平衡に達する前にリガンドに結合したコンジュゲートしていないハプテンの量を決定するステップと

を含む、試料中のハプテンを検出するための迅速アッセイ法。

【請求項11】

ハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲートが固定されている、請求項10に記載の迅速アッセイ法。

【請求項12】

ステップa)の試験サンプルとリガンドとを含む混合物をステップb)のハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲートの上に流す、請求項10または請求項11に記載の迅速アッセイ法。

【請求項13】

- a) 試験試料を請求項1から9で定義したハプテン-リンカー-大型グループのコンジュゲートと混合するステップと、
- b) 生じた混合物を、このハプテンを結合する能力があるリガンドと接触させるステップと、

c) 反応混合物が実質的に平衡に達する前にリガンドに結合したコンジュゲートしていないハプテンの量を決定するステップと

を含む、試料中のハプテンを検出するための迅速アッセイ。

【請求項14】

リガンドが固定されている、請求項13に記載の迅速アッセイ。

【請求項 15】

生じた混合物を固定したリガンドと接触させるステップ b) が、フロー オーバーまたはフロースルーシステムによって行われる、請求項 13 または請求項 14 に記載の迅速アッセイ。

【請求項 16】

a) ハプテンに結合するリガンドと、
b) 請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載のハプテン - リンカー - 大型グループのコンジュゲートと
を少なくとも含む、迅速アッセイのキット。

【請求項 17】

キットがさらに指示薬を含む、請求項 16 に記載の迅速アッセイのキット。

【請求項 18】

指示薬がハプテン - リンカー - 大型グループのコンジュゲートに結合している、請求項 17 に記載の迅速アッセイのキット。

【請求項 19】

指示薬がリガンドに結合している、請求項 17 に記載の迅速アッセイのキット。

【請求項 20】

試験ストリップである、請求項 17 に記載の迅速アッセイのキット。